

事業番号	15 06 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課		
		実施期間	H30 ～	E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり				

1 現状と課題

- ・学びの改革実践校応援事業の取組を情報交換会やSNS等で広げてきたが、令和4年度は最終年度となるため、確実な成果普及を進める必要がある。
- ・信州幼児教育フィールド研修をオンラインで開催したが、研修の目的を見直す必要がある。また、幼児期の遊びで培った主体性等を小学校での学びへ確実につなぐ必要がある。
- ・道徳の教科化により事業推進が一定の成果を収めたため、事業内容を整理する必要がある。

2 事業目的

- ・特色のある学校づくり授業づくりに取り組み、学びの改革を進める学校の拡大を図る。
- ・全ての幼児教育施設が遊びを通じた保育を実践することにより、主体的に学ぶ基盤を形成する。
- ・道徳教育の充実を図り、子供たちの豊かな心を育む。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ① **学びの改革を進める小中学校の拡大**
- ・「学びの改革実践校応援事業」におけるアドバイザー派遣等により、学校や地域の課題に応じた学びの改革を支援
 - ・一流講師によるミニフォーラムを開催し、学びの改革に資する情報を提供
- ② **質の高い幼児教育の推進**
- ・園種・校種を越えて保育現場から学び合うフィールド研修の実施
 - ・保育者のキャリアステージに応じた研修の実施
 - ・園・小合同の研修会の実施
- ③ **豊かな心を育む道徳教育の推進**
- ・道徳教育の普及を図るため、道徳教育推進委員会を設置
 - ・教員や県民を対象とする教育フォーラムを開催

4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	学びの改革に取り組む小中学校数	校	25		39	↑	43	↑	42	達成	令和2～4年度にかけて、学びの改革実践校応援事業により学びの改革を進める学校を拡大していくこととしているため
②	信州幼児教育支援センターによる各研修への参加者数	人	—		579	—	2,446	↑	1,500	達成	信州幼児教育支援センターの各研修等を充実させ、園種・校種を越えた質の高い幼児教育を推進するため
③	豊かな心を育むフォーラムへの参加者数	人	—		75	—	132	↑	100	達成	フォーラムの開催により、豊かな心を育む道徳教育を推進するため

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	99,224	0	99,224	86,261	46,979	8.0
R3年度	0	110,417	0	110,417	95,692	42,017	8.0
R2年度	0	121,569	△ 1,209	120,360	108,293	40,280	7.0

事業番号	15 06 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

6 主な取組実績と成果

① 学びの改革を進める小中学校の拡大

・学びの改革実践校応援事業により、学校のシステム改革や授業改革を目指す公立小学校・中学校43校の改革を支援した。学びの改革実践校のテーマは大きく学びの仕組みづくりやICTの活用、カリキュラム開発、授業改善、多様性への対応（学びづらさを抱える子への支援など）、山間小規模校での取組等、各学校がテーマに掲げるものはさまざまであるが、各学校の実状に応じ主体的にテーマを決め、改革に取り組んだ。

教育委員会は学びの改革実践校への支援として、改革アドバイザーの派遣や県外視察への支援を行った。学びの改革実践校は、自校の取組を近隣の学校に広げるべく、各地区の教育事務所が主催する情報交換会で、取組について発信した。

1月の学びの改革フォーラムでは、学びの改革実践校の代表が、全県に向けその成果を発表した。学びの改革フォーラム・ミニフォーラムを計5回開催し、有識者による講演や学校の取組発表を行った。学びの改革ミニフォーラムは、年間4回オンラインで実施した。各回の講師と参加者は以下のとおり。

（4月22日キックオフ臼井学義務教育指導係長(182名参加) 6月13日第1回上智大学教須正裕教授（372名参加） 9月12日第2回東北大学大学院堀田龍也教授（258名参加） 10月31日第3回元文部省初等中等局幼児教育課長大杉住子氏(315名参加)）

学びの改革ミニフォーラムは県内の小中高等学校の教職員に非常に好評で、特に第2回の奈須先生の回は研修会の記録動画を校内研修に利用したいと視聴希望を申し込む学校もあった。また、事後アンケートでは、自校の学びの改革に生かすことのできる研修となったかの問いに対し、どの回も肯定的な回答は9割を超える。

② 質の高い幼児教育の実現

・園種・校種を越えて保育現場から学び合うフィールド研修を12回開催し、延べ826人が参加した。

R4年度は、保育者がより参加しやすく効果的に研修できるように、オンライン研修（実践内容発表と演習）、実地研修（実践園校での保育・授業参観研修）、オンデマンド研修（研修をいつでもどこでも何度でも見返すことができる動画配信）を組み合わせた研修とした。特にオンライン研修での演習では、参加者が発表園校の実践に自分の実践を重ねて考え、それらを小グループで討議することを通して、自身の保育のありようを見直す機会となった。

・保育者のキャリアステージに応じた研修を5回開催し、延べ1073人が参加した。

第1回 基礎形成期相当

「学びを支える保育環境づくり～人的環境を中心に（基礎）」講師 東洋大学教授 高山 静子

第2回 伸長期相当

「学びを支える保育環境づくり～人的環境を中心に（応用）」講師 東洋大学教授 高山 静子

第3回 充実期相当

「これからの保育者に求められるもの」講師 長野県立大学教授 太田 光洋

第4回 次世代育成期相当

「保育をつなぐミドルリーダーの秘訣」講師 東海大学講師 天野 美和子

第5回 管理職期相当

「これからの園づくり」講師 聖徳大学教授 河合 優子

保育者の要望に応じた研修とすることで、日ごろ感じている課題意識を解決することに加え、幼児教育の質の向上につながる新たな知見を得る機会となった。

・園・小合同の研修会を2回開催し、延べ547人が参加した。

第1回 「園・小接続カリキュラムの開発【理論編】【実践編】に学ぶ」

講師 長野県立大学教授 太田 光洋

第2回 「資質・能力から見た園小接続」

講師 上智大学教授 奈須 正裕

園と小学校が「発達と学び」を視点に職員同士がつながることの重要性を確認することで、具体的な見通しをもつことができた。



連携から接続へ 園小接続研修

保育士等キャリアアップ研修として受講可

6月2日（木）14:00～16:00

「園・小接続カリキュラムの開発

【理論編】【実践編】に学ぶ」

講師 長野県立大学教授 太田 光洋 先生

※園長・校長をはじめとする園・学校職員対象

8月2日（火）14:00～16:00

「資質・能力から見た園小接続」

講師 上智大学教授 奈須 正裕 先生

※園長・校長をはじめとする園・学校職員対象

③豊かな心を育む道德教育の推進

・教員研修や県民を対象とする教育フォーラム「豊かな心を育むフォーラム2022」を新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みオンラインで開催し、132名が参加した。第1部に長野県道德教育推進委員らによるパネルディスカッション、第2部に講演会を行った。講演会の講師として結城匡啓氏（信州大学学術研究院教育学系教授）、小平奈緒氏（スピードスケート選手）を招聘し、「自分は何者なのか～選手として 人として～」を演題にお話しいただいた。参加者からは、「人と力で比べるのではなく、人として誇り高く生きていくこと、人生の豊かさを育てていくことが大切だ」という言葉が強く心に残りました。子どもたちを評価するとき、結果に目が行きがちですが、人と比べた結果ではなく、そこに至るまでの過程やその子自身の成長に目を向けられるような教師でありたいと思いました。また、自分自身についても、人と比べて卑下するのではなく、どんな姿も自分として認め、小平選手のように自分の手綱は自分で握るような人生を歩み、たくさんの人との出会いの中で日々を豊かにしていきたいと思いました。とても学びの多い有意義な時間になりました」など感想があり、全体の100%の参加者が肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）であった。



オンラインで行ったパネルディスカッションと小平氏を講師に迎えた講演会の様子

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	学びの改革に取り組む小中学校数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
令和2年度から実施した学びの改革実践校応援事業が着実に実施され、学びの改革に取り組む小中学校が増加した。							
指標②	信州幼児教育支援センターによる各研修への参加者数	R3年度推移	—	R4年度推移	↗	達成状況	達成
信州幼児教育支援センターの各研修を充実させたため、前年度より参加者数が大幅に増加した。							
指標③	豊かな心を育むフォーラムへの参加者数	R3年度推移	—	R4年度推移	↗	達成状況	達成
第一線で活躍する方をパネリストとして迎えるなどの工夫により、前年度より参加者数が増加した。（R1:91名、R2:中止、R3:74名、R4:132名）参加者は、児童、生徒、学生、保護者、地域で子育てや地域づくりに関わっている方々や教育関係者等。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・学びの改革実践校応援事業により、学校のシステム改革や授業改革を目指す学校の拡大を図り、公立小学校・中学校43校の改革を支援することができた。一方で、システム改革に取り組むには時間を要するといった課題もみられた。 ・幼児教育支援センター事業 R4 事業において参加者の増など一定の成果がみられたため、研修の内容をより魅力的なものとして事業を継続していく必要がある。 ・道德教育総合支援事業では、教員研修や県民を対象とする教育フォーラム「豊かな心を育むフォーラム2022」を全体テーマ「豊かな心を育む～対話をてがかりとして～」とし、講演会やパネルディスカッション等で構成したことは参加者のアンケート等を見てもおおむねよいと考える。一方で、参加者が教育関係者に偏っている傾向もあるといった課題もみられる。
(2) 翌年度以降の事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域ごとの課題に応じた学びの改革が進められ、一定の波及効果はみられている。R5年度からは県教育委員会で設定したテーマ（課題）に対し、単年度ごとの募集ではなく、複数年（2年間）一つのテーマに取り組めるように学校を指定し、アドバイザーの派遣や視察費用の補助などを通して支援していく。 ・幼児教育支援センターにおいて、R4年度に拡充したキャリアに応じた研修や園・小合同研修等を継続していく。加えて、幼児教育支援センターのフィールド研修では、発表園校と参加園校が共通した研修テーマのもと相互に高まり合うことができる往還的・探究的な研修を実施していく。 ・道德教育では、大人も子供も共に心を育むことができるよう「豊かな心を育むフォーラム」を継続していく。また、教育関係者だけでなく、保護者や地域の方々に多く参加いただけるよう、教育委員会を通じての周知だけでなく、長野県道德教育推進委員会の方々の様々なチャンネルを活用し、様々な立場の人が参加できるよう働きかけていきたい。

事業番号	15 06 03	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	学びの改革実践校応援事業		754 千円	681 千円	898 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	学びの改革実践校応援事業	直接	学校のシステム改革や授業改革を目指す学校の拡大を図るため、改革に取り組もうとする小・中学校に対し、アドバイザー派遣や情報発信等の支援を実施した。 学びの改革実践校（公立小学校・中学校）：43校（77校が応募）		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	幼児教育振興事業費		4,468 千円	4,346 千円	5,335 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州幼児教育支援センターの運営	直接	幼稚園及び保育所等の園種を越えて幼児教育の質の向上を図るため、関係団体との連携、保育者研修の見直し等を実施した。 幼児教育支援コーディネーター1名配置、運営会議2回、専門部会6回		
2	保育者の資質能力の向上	委託	質の高い幼児教育を実施するため、キャリアステージ研修を実施。また、先進的な取組を行っている幼稚園、保育所及び認定こども園等でフィールド研修を5件委託。 フィールド研修会12回、延べ826人参加 キャリアステージ研修5回、1073人参加		
3	幼保小の学びの接続	直接	幼保小接続カリキュラム（理論編・実践編）に基づいた研修を実施した。 園小接続研修2回、延べ547人参加		
4	保護者・地域等の理解の促進（情報発信）	直接	保護者及び地域等へ理解を促進するために情報提供を行った。 情報誌への掲載2回		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	道徳教育総合支援事業		226 千円	3,183 千円	1,761 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	道徳教育総合支援事業	直接	道徳教育の充実を図るため、教員研修や県民を対象とする教育フォーラム「豊かな心を育むフォーラム2022」を実施した。 教育フォーラム参加者132名		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	自然教育・野外教育推進事業費	226 千円	489 千円	762 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	自然教育・野外教育推進事業費	直接	子どもたちの「生き抜く力」を育むため、プログラム実践校において県独自の野外体験活動プログラムの研究・開発・普及推進並びに実践できる教員を育成した。 プログラム実践校7校1団体、実践校へのプログラム指導者派遣13回	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	教職員研修事業費	18,269 千円	19,094 千円	21,739 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	教職員研修事業費	直接	教職員の資質能力を向上させるため、初任者研修等の指定研修や先進地視察等の各種研修を実施した。 指定研修：108講座 5507人	
2	フロンティアスピリッツ事業（自己啓発研修）	補助金	小・中・高等・特別支援学校の教職員が業務と関連する知識や技能を幅広く習得する取組を支援するため、旅費の一部を補助した。補助金交付先：県内の教員 自主研修への補助：3名（高校）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	総合教育センター研修費	13,948 千円	12,174 千円	15,233 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	総合教育センター研修費	直接	教職員の資質能力を向上させるため、希望研修を始め各種研修を実施した。 参加者等：法定研修60講座、5,507人。希望研修講座245講座、4,138人。その他研修講座29講座、164人。生徒実習1,202人。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	総合教育センター研究費	150 千円	1,089 千円	1,251 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	総合教育センター研究費	直接	教職員研修に資するため、教育に関する専門的・技術的事項に関する研究調査を実施した。 指導助言者による講演・研修の実施、アンケートによる実態調査、教職員養成に関する大学との連携	